

2022年12月期第3期四半期決算補足説明資料

2022年11月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証グロース コード 6561

Summary

2022年12月期3Qは前年同期比113.6%増収
経常損失 前期比+177百万円 最終損失 前期比+185百万円 損失圧縮

水際対策緩和 → 外国人観光客 増加傾向
航空各社 国際線の増便を発表

⇒インバウンドの本格的な回復に向け事業拡大へ

旅行事業

4Qツアーパッケージ予約状況 → 3Qの10倍超

⇒営業人員の積極採用

バス事業

インバウンド需要回復に伴い ドライバー増員

ホテル事業

国内需要回復傾向 インバウンド需要 徐々に回復

⇒各ホテル ADR・稼働率 徐々に回復

ホテルセンレン京都東山清水 ML解約・営業廃止の決定

⇒12月 特別利益 724百万円 計上見込

2022年12月期3Q 実績サマリー

外国人観光客 受入再開するも本格的な回復には至らず

単位：百万円（百万円未満切捨て）

	2021/12		2022/12 前期比			
	3Q	構成比	3Q	差額	増減率	構成比
売上高	543	100.0	1,161	617	113.6	100
営業利益	△ 1,556	△ 286.4	△ 1,312	244	-	△ 113.0
経常利益	△ 1,485	△ 273.1	△ 1,307	177	-	△ 112.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,491	△ 274.3	△ 1,306	185	-	△ 112.5
1株当たり当期純利益(円)	△ 136.98		△ 104.03			

2022年12月期3Q 損益計算書

経費節減の徹底 インバウンド需要回復を見据え各事業稼働増 人件費 変動経費 増加

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2021/12		2022/12 前期比			
	3Q	構成比	3Q	増減	伸率	構成比
売上高	543	100.0	1,161	617	113.6	100.0
売上原価	265	48.8	302	36	13.7	26.0
売上総利益	278	51.1	859	580	209.0	74.0
販管費	1,834	337.4	2,171	336	18.3	187.0
うち人件費	432	79.6	477	44	10.3	41.1
営業利益	△ 1,556	△ 286.3	△ 1,312	244	-	△ 113.0
経常利益	△ 1,485	△ 273.1	△ 1,307	177	-	△ 112.6
親会社株主に帰属 当期純利益	△ 1,491	△ 274.3	△ 1,306	185	-	△ 112.5

売上原価

- ・バス事業：+14百万円
- ・ホテル事業：+17百万円

販管費

- ・旅行事業：△ 23百万円
- ・バス事業：+ 13百万円
- ・ホテル事業：+358百万円
- ▷稼働率増加による
変動経費増+262百万円
- ▷金沢ホテル（開業費含む）
+125百万円
- ・調整 他：△12百万円

営業外損益

- ・コロナ関連 助成金
- ▷前期：128百万円
- ▷当期：72百万円

特別損益

- ・前期
- ▷新株予権戻入 9百万円
- ▷店舗解約損 2百万円
- ・当期
- ▷固定資産圧縮損 2百万円

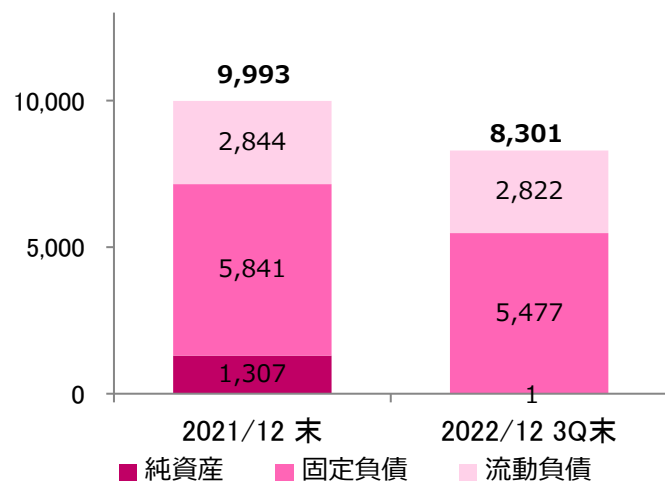
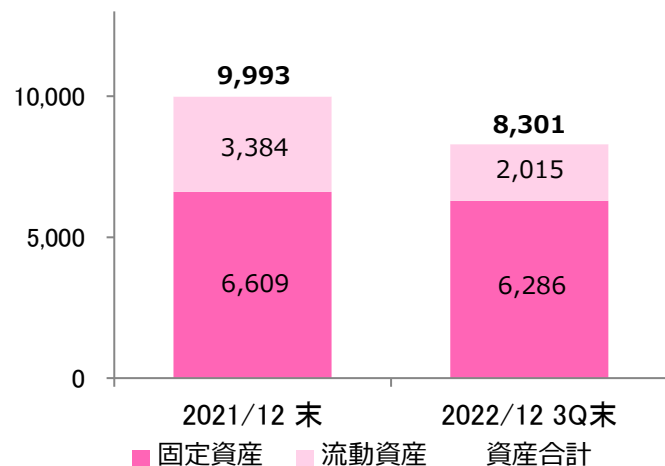
2022年12月期3Q セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2021/12 3Q	2022/12 3Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高 セグメント利益 利益率	24 △ 149 -	126 △ 90 -	101 59 -	416.7 - -	10.9 6.9 -
バス事業	売上高 セグメント利益 利益率	180 △ 129 -	103 △ 234 -	△ 77 △ 105 -	△ 43.0 - -	8.9 17.9 -
ホテル等施設運営事業	売上高 セグメント利益 利益率	355 △ 1,087 -	1,017 △ 800 -	662 286 -	186.4 - -	87.6 61.0 -
その他	売上高 セグメント利益 利益率	18 1 5.6	23 0 -	5 0 -	28.7 - -	2.0 △ 0.1 -
小計	売上高 セグメント利益 利益率	578 △ 1,365 -	1,270 △ 1,124 -	691 240 -	119.6 - -	109.4 85.7 -
調整等	売上高 セグメント利益 利益率	△ 34 △ 191 -	△ 109 △ 187 -	△ 74 4 -	213.8 - -	△ 9.4 14.3 -
合計	売上高 営業利益 利益率	543 △ 1,556 -	1,161 △ 1,312 -	617 244 -	113.6 - -	100.0 100.0 -

2022年12月期3Q 貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）



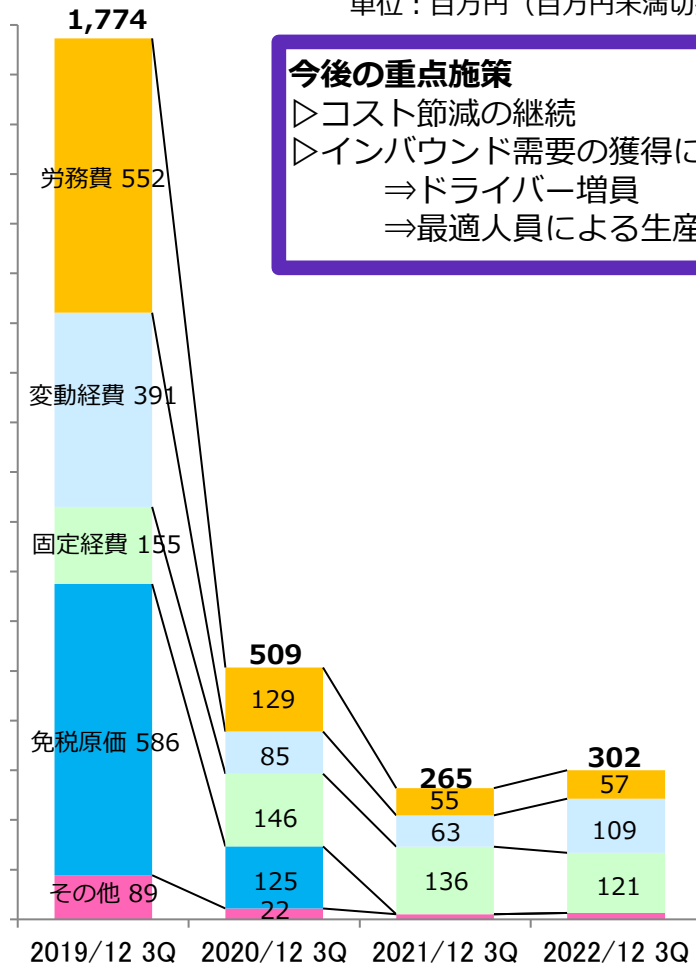
流動資産	2,015	(△1,369)	
■ 現金及び預金	1,382	(△1,553)	引当金による売上低迷のため減少
■ 売掛金及び 契約資産	238	(+96)	売上増に伴う増加
■ 前渡金	172	(+6)	
固定資産	6,286	(△323)	
■ 有・無形固資	5,061	(△301)	償却による減少、設備投資+20
■ 敷金保証金	1,213	(△6)	
流動負債	2,822	(△22)	
■ 短期借入金	1,434	(△132)	返済による減少
■ 一年内返済長借	199	(△1)	
■ 未払費用	741	(+57)	各事業稼働増に伴う増加
固定負債	5,477	(△364)	
■ 長期借入金	872	(△151)	返済による減少
■ リース債務	4,794	(△176)	
純資産	1	(△1,305)	
■ 資本金	1,771		
■ 資本剰余金	1,716		
■ 利益剰余金	△3,314	(△1,306)	当期利益 △1,306

2022年12月期3Q コスト推移

人件費 経費の節減を徹底 各事業 稼働増加 ⇒ 人件費 変動経費 増加

売上原価 4期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）

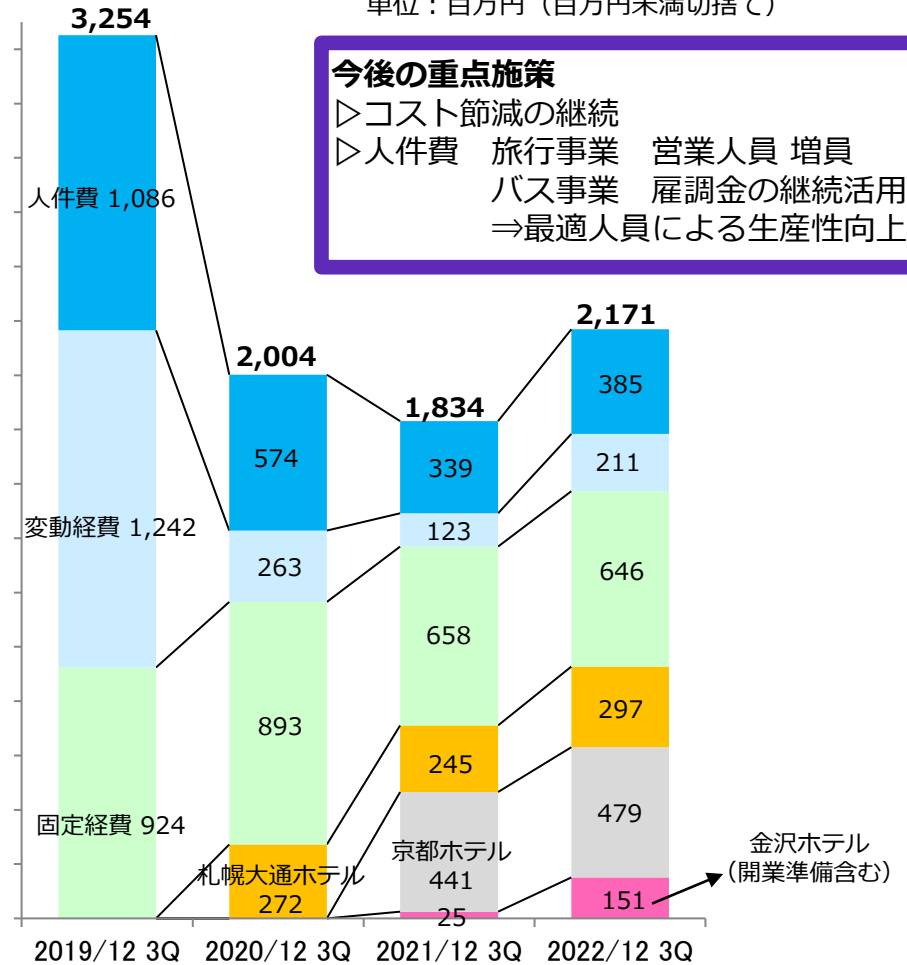


今後の重点施策

- ▷コスト節減の継続
- ▷インバウンド需要の獲得に向け
⇒ドライバー増員
⇒最適人員による生産性向上

販管費 4期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



今後の重点施策

- ▷コスト節減の継続
- ▷人件費 旅行事業 営業人員 増員
バス事業 雇調金の継続活用
⇒最適人員による生産性向上

2022年12月期 業績予想について

インバウンド回復傾向 京都ホテル解約合意金等の受領 → 特別利益 724百万円 計上見込

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2021/12		2022/12 前期比			
		構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	864	100.0	1,895	1,030	119.3	100.0
営業利益	△ 2,023	△ 234.1	△ 1,482	541	—	—
経常利益	△ 1,959	△ 226.6	△ 1,493	466	—	—
親会社株主に帰属する 当 純 利 益	△ 1,968	△ 227.7	△ 770	1,198	—	—
1株当たり当期純利益	△ 178.33		△ 61.33			
自 己 資 本	1,279		513			

※2022年11月14日公表時点の予想

2022年12月期 今後の重点施策

営業基盤の強化

経営効率化

需要回復を見据えた取組

旅行事業

- ▶ 営業拠点の選択と集中
東京本社・韓国営業所・インドネシア
- ▶ 人員最適化による生産性向上

- ▶ インバウンド需要獲得に向けた取組み
 - パッケージ商品の企画・販売準備
 - 「Gorilla」海外有力サイトとのAPI連携推進
（に加え取扱商材：ホテル・旅ナカ商材の拡充
 - 営業人員の増員

バス事業

- ▶ 営業拠点の拡大
東京・大阪に加え北海道・福岡の再開
⇒ 雇調金を活用しつつ 最小限の投資に抑制

- ▶ インバウンド需要獲得に向けた取組み
各事業所 ドライバー増員
- ▶ 国際便クルー送迎事業の拡大
- ▶ 国内AGTへの営業強化

ホテル等
施設
運営事業

- ▶ 3月開業 「Tマークシティホテル金沢」
従業員新規採用を抑制し他ホテルから応援
- ▶ 「ホテルセンレン京都東山清水」
ML解約、営業廃止の決定（12月引渡）

- ▶ インバウンド需要獲得に向けた取組み
 - 海外旅行エージェントへの営業強化
- ▶ 東京大森 航空会社クルーの宿泊誘致強化

財務体質の強化

金融機関、親会社へ継続した支援要請

- ▶ 借入契約、融資枠設定契約の継続

状況に合わせて資金調達の検討

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6629-4755

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>